

# 徳島教育大綱



令和元年 8月  
徳島県

# 目 次

1	大綱策定の趣旨	1
2	位置付け	1
3	推進期間	2
4	基本方針	2
5	重点項目	3
	Ⅰ 未知への挑戦！未来を創る教育の推進	4
	Ⅱ 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進	7
	Ⅲ 一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進	12
	Ⅳ 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	15
	Ⅴ 世界へ飛躍！「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを 創出する教育の推進	18
6	参考資料	22
	用語解説	22
	SDGs 関連表	25

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



※本編中にはSDGsの17ゴールのうち関連するアイコンを付しています。

※掲載しているQRコードをスマートフォン等で読み取っていただきますと、  
関連する動画がご覧いただけます。

※巻末の用語解説に掲載している用語には\*を付しています。

## 1 大綱策定の趣旨

徳島県では、平成27年度から平成30年度までの4年間の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する施策の根本となる方針として、平成27年12月、「徳島教育大綱」を策定しました。

この間、喫緊の課題である人口減少の克服と東京一極集中の是正を図るため、消費者庁等の「消費者行政新未来創造オフィス」の開設や、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用した情報通信関連企業やサテライトオフィスの集積、LEDを基軸とする産業振興や6次産業化のさらなる推進など、数多くの課題解決の処方箋を全国に発信してきました。

今、我が国は「人口減少」と「災害列島」という国難とも呼べる課題に直面するとともに、「第4次産業革命」の進展による超スマート社会<sup>\*</sup>「Society5.0」の到来や「巨大経済圏」の形成など、国内外の社会環境が劇的に変化しており、さらには、持続可能な開発目標<sup>\*</sup>「SDGs」の達成も期待されるなど、これまでの常識が通用しない「未知の世界」が眼前に広がる時代を迎えています。

これまでの取組をもう一段高い次元へと進化させ、「地方創生の旗手」と呼ばれた徳島が「未知の世界」に挑戦し、日本全体を「持続可能な社会」へと導いていくためには、徳島の未来を担う「人」を育てることが重要です。

本県の未来を担う全ての「人」に、徳島が誇るべき歴史と風土、脈々と受け継がれてきた「進取の気質」をしっかりと継承するとともに、未知なる世界を自ら切り拓き、「持続可能な社会」を創造する力を育む「徳島ならではの」未来教育を実践するため、新たな「徳島教育大綱」を策定します。

今後は、この大綱に沿って、徳島の教育力を結集させ、本県の宝である「人」づくりに全力で取り組んでいきます。

## 2 位置付け

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき、本県における教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策についてその目標や施策の根本となる方針を定めるもので、教育分野についての県総合計画の上位の概念として位置付けています。

また、大綱の行動計画として、「徳島県教育振興計画（第3期）」により、本県教育の振興のための具体的な施策や成果目標を示しております。

### 3 推進期間

令和元年度（2019年度）から令和4年度（2022年度）までの4年間とします。

### 4 基本方針

「徳島ならではの」の教育により、大きな夢や高い目標を持って、未知の世界に果敢に挑戦する、本県の宝である「人財」の育成をめざします。

**未知の世界に果敢に挑戦する、  
夢と志あふれる「人財」の育成**

#### 「人財」の具体像

- ① 人口減少の進行や、超スマート社会「Society5.0」の到来など、社会のあり方が大きく変わる中で、自らの将来をしっかりと見据え、未知の事象に対しても果敢に挑み、主体的に課題を解決していく力を身に付け、

**「未来を切り拓いていく人財」**

- ② 人と人、人と地域のつながりの中で、多様性を認め合い、他者を思いやる心と健やかな体を育むとともに、生涯を通じて学び、成長を続けながら、

**「新たな価値を創造していく人財」**

- ③ 本県の豊かな自然や世界に誇るあわ文化などの魅力を実感し、徳島への郷土愛や誇りを持ち、持続可能な社会づくりの担い手として、

**「地域を輝かせる人財」**

## 5 重点項目

基本方針に掲げる「人財」を育成するため、あらゆる分野・世代の教育力を結集し、「徳島ならではの」(※)の特色あふれる未来志向の教育施策を積極的に推進することで、徳島の未来を担うすべての「人」に対して、個人の能力・適性に応じた、質の高い学びを提供します。

これらの施策を着実かつ、スピード感を持って展開していくため、組織横断的な体制で取り組むとともに、市町村や関係機関との有機的な連携を積極的に図ります。

### ※「徳島ならではの」教育とは

若杉山遺跡の発掘から浮かび上がる辰砂の供給地、阿波忌部で知られる朝廷とのつながり、中世に活躍した才気あふれる三好長慶の輩出など、徳島は古くから、時代を支える重要な役割を担ってきました。

連綿と続く歴史の中で、先人たちから脈々と受け継がれる進取の気質や精神に根ざした教育施策を推進するとともに、それらをしっかりと育み、次代に継承することで、徳島教育大綱の基本方針の実現をめざします。

### 可能性に挑戦する「こころいき」

先人たちは独創的な技法により阿波藍の品質向上に努めるとともに、積極的に販路の開拓を図ることで、全国の市場を席卷しました。また、人類学者の鳥居龍蔵先生は先進的な調査方法により、世界各地のフィールドワークを行い、日本文化の起源を明らかにしようとしていました。先人たちの、可能性に果敢に挑戦し、よりよいものにしていこうとする「こころいき」に倣い、チャレンジ精神や向上心をしっかりと育みます。

### 困難に打ち克つ「たくましさ」

先人たちは日本有数の暴れ川として知られる吉野川の洪水を活かし、日本一の藍作地域に育ててきました。また、世界農業遺産ともなった「にし阿波の傾斜地農耕システム」など、厳しい自然環境を克服し、共生してきました。さらに、阿波藩医だった関寛斎先生は、70歳を過ぎてから北海道に渡り、開拓に貢献してきました。先人たちの、困難に打ち克つ「たくましさ」に倣い、壁にぶつかってもくじけず、それを乗り越えていこうとする心をしっかりと育みます。

### 人や自然、地域を大切にする「おもいやり」

長い歴史を超えて継承されてきた、四国八十八箇所巡礼で知られる「おもてなし」、板東俘虜収容所における人道的で敬愛に満ちた、ドイツ人と地元民との心温まる交流、また、救貧事業やボランティア、社会運動などを通じて、友愛・互助・平和の精神を説き続けた賀川豊彦先生など、先人たちの、人や自然、地域を大切にする「おもいやり」に倣い、人を愛し、自然豊かな郷土を愛する心を大切に育みます。

## 重点項目 I

### 未知への挑戦！未来を創る教育の推進

\*IoT、\*ビッグデータ、\*AIなど革新技術の加速度的進展により、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超えて進展する中、新たな時代を豊かに生き、未来を創る人財を育成する教育を推進します。また、国際社会の共通の目標である、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向け、確かな行動ができる人財を育成します。

## ①持続可能な社会を具現化する「徳島ならではの」教育の推進

### ○徳島発！新次元の消費者教育の推進



県内外の高校生が交流する  
エシカルフェス

成年年齢引下げを見据えた消費者教育や\*「エシカル消費」の普及・啓発など、全国をリードする先駆的な取組をさらに充実します。「キャッシュレス化時代」に必要な金銭教育を含め、幼児期からのライフステージに応じた系統的・体系的な取組のさらなる充実を図るとともに、SDGsの実現に向けた取組の実践など、新次元の消費者教育を推進します。



### ○未来で輝く、魅力あふれる学校づくり

徳島モデルの小中一貫教育である\*「チェンスクール」\*「パッケージスクール」を全県に展開するとともに、保護者の短期居住にあわせて子どもの学校間移動を容易にする\*「デュアルスクール」をより一層、推進します。

さらに、「高校の特色化・魅力化」を通じて地域の新たな活力を創出するため、豊かな地域資源を活かした教育プログラムを確立し、地元はもとより県内外から生徒が集う学校づくりを進めます。



「デュアルスクール」での活動



## ○未来を拓く環境教育の充実

豊かな自然を活かした環境保全・美化活動プログラムの整備・拡充や、参加体験型の環境学習の充実を図ります。全国展開をリードする水素社会の構築など、エネルギーの効率的な利用についての理解を深め、生命や自然を大切にし、「持続可能な社会」を実現するため、主体的に行動できる人財を育成します。

また、徳島の水環境に関わる特色や水に関わる先人の絶え間ない治水の労苦の歴史や文化、水を汚さない工夫などの健全な水環境の重要性を学び理解できる「水教育」に、県民誰もが容易に参加できるような環境づくりを推進します。



## ② 「Society5.0」をリードする資質や能力の育成

### ○先端技術の効果的活用による教育活動の充実

本県の強みである全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、変化の激しい社会をよりよく生きる資質・能力を育成するために、「ビッグデータ」や「EdTech」を活用した個に応じた学習や教科横断的な教育を推進するなど、学習活動の充実に向けた取組を推進します。



### ○未来を現実にする、プログラミング教育の推進

本県の未来を担う子どもたちが、将来どのような職に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる、論理的・創造的思考力など、「プログラミング的思考」を育むプログラミング教育を、小・中・高等学校を見通した学びの過程の中で、子どもたちの生活や教科等の学習と関連付けつつ体系的に推進します。



プログラミング教育の授業風景



### ③世界に羽ばたく「グローバル人財」の育成

#### ○世界への扉を開こう！徳島育ちのグローバル人財の育成

小学生から高校生まで、すべての英語学習段階における、外国人との交流や体験活動の機会の提供及び、「英語4技能のバランスのとれた育成」など、外国語教育のさらなる充実を図ります。

外国語によるコミュニケーション能力や、総合的な人間力を向上させ、グローバルな視点と地域（ローカル）の視点を兼ね備えた、グローバル人財を育成します。



豪華客船で来県した  
外国人を高校生がサポート



外国語指導助手（ALT）とともに  
徳島の歴史、文化等を体験

#### ○新しい価値の創出に挑む、クリエイティブ人財の育成

イノベーションを牽引し、グローバルに活躍できる科学技術人材を育成するため、各教科での学習を融合し、実社会での課題解決に生かしていく「STEAM教育の充実」<sup>\*</sup>を図ります。

また、<sup>\*</sup>「国際科学オリンピック」に関する講習会の開催や、<sup>\*</sup>「科学の甲子園」の開催周知、<sup>\*</sup>「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」における研究成果の普及に取り組みます。



## 重点項目Ⅱ

### 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進

子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成するため、新学習指導要領の着実な実施により、知・徳・体のバランスのとれた質の高い、確かな学びを育み、夢と志を持って、可能性に挑戦し、それを実現できる人財を育成します。

#### ①真の知性を育む「深い学び」の実現

##### ○確かな学力を育む、質の高い、深い学びの実現

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進、\*カリキュラム・マネジメントの確立といった、新しい時代に求められる資質・能力の育成に向けた新学習指導要領の着実な実施を図るため、大学との連携や研修等の充実により、学力・学校力の向上に取り組めます。

また、地域の課題解決を考える取組や課題研究など、「探究活動」を中心として、「深い学び」が実現できる教育を推進し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を培い、未来の徳島を牽引する人財の育成を図ります。



\*アクティブ・ラーニング  
による授業



##### ○地方創生に貢献する、多様な学びの実現

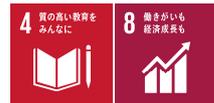
地域の活性化をめざした特色ある学校づくりの取組や新たな可能性を拓く専門学科の充実、高等教育機関との連携・強化など、一人ひとりの可能性を最大限に伸長する教育を推進します。

また、公立学校とともに本県教育の一翼を担う私立学校に対し、ニーズに応えた「特色ある学校づくり」を支援します。



首都圏での販売実習

地方創生に貢献できる創造的実行力を育成するため、県立高校における農・工・商一体教育や学校間連携・生徒間協働、また、全国初の6次産業化をテーマに開設された徳島大学生物資源産業学部との連携による<sup>\*</sup>「6次産業化教育」を推進します。



### ○価値の創造を加速する、高等教育機関との連携強化

「大学との連携」による地域の課題解決や教育内容の接続のため、高大連絡協議会や情報交換会の実施、地域に密着した教育・研究活動や出張講義・公開講座等の地域貢献活動を促進し、連携強化を図ります。

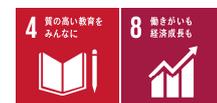


## ②将来を描き、可能性を最大化する教育の推進

### ○未来を切り拓く<sup>\*</sup>「キャリア教育」の推進

予測困難な時代の中で、多様な人々と関わりながら、自分の可能性を見つめ、様々な課題に対応する力を育成するとともに、人生100年時代を見据え、社会人・職業人としての「生き方を描く力」の育成を図ります。

幼児期から高等学校段階までの、体系的な見通しや、振り返りを促す<sup>\*</sup>「キャリア・パスポート」を活用し、キャリア形成支援の充実を図ります。



ものづくりの魅力を実感する体験学習



伝統行事で地域の魅力を体験

## ○社会を「自分事」として捉える主権者教育の充実

選挙権年齢や成年年齢の引下げを踏まえ、小・中・高等学校の各段階において、選挙や政治に対する理解促進を図ります。

自ら考え、自ら判断し、より良い社会の構築をめざす意識を醸成するため、「模擬投票」や「<sup>\*</sup>高校生サミット」など、体験・探究型学習を充実することにより、未来を担う主権者を育成する教育を推進します。



選挙を体験する模擬投票



地域活性化のアイデアを  
高校生が発表



## ○豊かな育ちを支える、幼児教育の推進

県内すべての乳幼児が養育環境に関わらず、生涯にわたる人格形成の基礎を培う質の高い幼児教育・保育を受けられるよう、保育教諭、幼稚園教諭及び保育士に対する「研修の充実」など必要な環境整備に取り組みます。

小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる発達や「学びの連続性」を踏まえた幼児教育の充実を図ります。



野菜の収穫体験



### ③成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成

#### ○かけがえのない「生命」を尊重し、感謝する心を育む教育の推進

自然や動植物を愛しむ心、自他の生命を大切にする心など、かけがえのない「生命の尊さ」を知り、「感謝する心」を育むため、道徳教育をはじめ、地域の特性を生かした様々な体験活動を通じて、生きることのすばらしさを実感する教育を推進します。



希少植物「イシマササユリ」の保護活動



#### ○夢を抱き、心豊かに生きる力を育む教育の推進

美しいものやすばらしいものに感動する心、自己肯定感、規範意識等、豊かな情操や道徳心を育むため、「読書活動や体験活動の推進、道徳教育の充実」など、家庭や地域と連携した多様な機会を通じて、子どもたちの人間性を豊かにする教育を推進します。



読書の魅力を伝える書評合戦  
(ビブリオバトル)



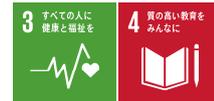
豊かな自然を体験する  
海辺の環境学習



## ○自ら学び、実践する健康教育の推進

家庭や地域と連携し、体力・運動能力の向上を図るとともに、「運動習慣や望ましい生活習慣の確立」のため、喫煙、飲酒、薬物乱用防止、生活習慣病予防に対する正しい知識を身に付け、理解を深めることのできる機会の充実を図ります。

生涯にわたり、自らの健康を育むために、課題を見つけ、その解決に向けた行動選択ができるよう、性に関する指導等も含め、心と体の発達に合わせた健康教育を推進します。



家庭・地域での体力づくりを支援する「さわやかサポート」



楽しみながら記録に挑戦する「わんぱくランキング」

## ○健全な心身を培う、魅力ある食育の推進

子どもたちが「食に関する正しい知識と望ましい食習慣」を身に付けることができるよう、学校・家庭・地域が連携した「徳島ならではの」魅力ある食育の推進を図ります。

「学校給食」を生きた教材として、県産の安全・安心な食材を活用するほか、「食品ロス削減」の視点を持ち、食の大切さや感謝の気持ち、食文化への理解を深めます。



高校生と幼稚園児の食育を通じた交流



## 重点項目Ⅲ

### 一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進

年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、すべての人が安心して暮らし、自立しながら支え合い、個性や能力を発揮して活躍し続けられる\*「ダイバーシティとくしま」の実現に向けて、多様性を育む教育を推進します。

#### ①個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進

##### ○個々の特性に応じた切れ目ない支援体制の充実

発達障がいを含めたすべての子どもたちが主体的に適切な行動を学ぶ「ポジティブな行動支援」\*を軸として、学齢期を通じた切れ目ない「キャリア教育」を展開します。

早期から一人ひとりの適性を見だし、伸ばすことで、将来の社会的・職業的自立をめざした教育を推進します。



職業スキル向上と地域交流の場  
「支援学校みまカフェ」

##### ○みんなが主役！一人ひとりの才能や感性を生かす教育の推進



風船バレーで地域交流

障がいの種別や程度に関わらず、学齢期を通じて、文化・芸術・スポーツに親しみ、楽しむ機会を増やし、生涯にわたって、一人ひとりが個性や能力を発揮しながら、生活を豊かにすることができる教育を推進します。



##### ○共生社会の実現に向けた教員の専門性の強化

すべての学校（園）において、特別な支援を要する幼児児童生徒が適切な支援・指導を受けられるよう、通常の学級をはじめ、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校等の「多様な学びの場」を担う教員の専門性を強化します。



## ②互いに尊重し、支え合う教育の推進

### ○多様性を認め合い、つながりを実感する人権教育の推進・充実

教職員のキャリアステージや新たな人権課題に対応した研修の推進や人権教育研究指定校での成果の普及、人権教育指導者用手引書の活用促進により、差別解消と人権尊重社会の実現をめざし、教育活動全体を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育の充実を図ります。

学校・家庭・地域が一体となり、識字学級との交流やフィールドワークなど、地域から学ぶ機会の創出を図ります。

「中・高生による人権交流事業」や社会教育における研修会などの充実を図り、多様性を認め合う社会をめざし、人権問題解決に取り組む次世代や地域の人材の育成を推進します。



中・高生による人権交流集会



### ○子どもたちの未来を守る環境づくり



全国いじめ問題子供サミット  
での発表

いじめや不登校などの諸課題や児童虐待などの脅威から未来ある子どもたちを守りぬくため、「子どもたちの主体的な取組」を充実します。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置促進、個々のニーズに応じた相談体制の充実等、悩みやSOSを受け止めることができる環境づくりを推進します。



### ③共に生きる、「多様な力」を育む教育の推進

#### ○共生につなげる、帰国・外国人児童生徒に対する教育支援

帰国・外国人児童生徒に対して、日本語指導はもとより、学校生活や学習支援等の包括的支援を行います。社会への適応、経済的社会的な自立を図るとともに、すべての児童生徒を対象とした「多文化共生・異文化理解」に基づく教育を推進します。



#### ○世界とつながる教育の場の創造

海外の学校からの教育旅行の受入や、学校間交流を充実させることにより、教育、文化、スポーツ等の幅広い分野において、世界の多様な文化との交流の中で自他の違いを尊重し、コミュニケーションを通じて、ともに問題を発見し解決する能力等、「国際感覚を育むための教育」を推進します。



徳島商業高校とシェーラベルク職業学校  
(ドイツ・ニーダーザクセン州) との交流



富岡西高校と台湾新化高級中學  
との交流

## 重点項目Ⅳ

### 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

新たな時代に対応した質の高い教育を実現するため、児童生徒、教職員が心身ともに健康で、安心して自分の夢を実現できる教育環境づくりを推進します。また、人生100年時代を見据え、生涯の様々なステージに必要な能力を着実に身に付け、発揮することができるようリカレント教育<sup>\*</sup>の充実を図ります。

#### ①生涯を通じた「豊かな学び」の創出

##### ○つながる！支える！できる！家庭教育支援の充実

すべての教育の基盤となる家庭教育に安心して取り組めるよう、関連する情報の提供や、保護者相互の交流・研修の実施、相談対応の充実等により、「知的・人的ネットワーク」の構築を図ることで家庭教育力の向上をめざします。



家庭教育力向上のための研修  
「とくしま親なびワークショップ」



##### ○生涯にわたって学び続ける環境づくり



まなびを支援し、地域交流を促す  
「まなびの丘フェスティバル」



まなびーあ徳島やシルバー大学校、文化の森総合公園や公民館等の社会教育施設を拠点として、生涯学習やライフステージに応じた、「リカレント教育」を推進します。

すべての世代に学習機会の創出を図り、他者と連携・協働しながら、地域の課題解決や地域振興を主体的に担うことができる、人財を育成するなど、子どもから高齢者まで県民一人ひとりが生涯にわたって学び続けられる環境づくりを推進します。

全国初の「県立夜間中学」を設置することにより、学び直しを必要とする人や、外国籍の人、就学の機会の提供を希望する人に対し義務教育の段階における普通教育に相当する教育機会の確保を図ります。

## ②とくしまの未来を守る「防災教育」の推進

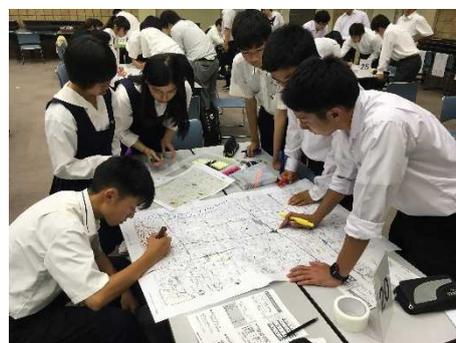
### ○「絆」を育む防災教育の推進

南海トラフ地震をはじめとする震災、風水害、火災等の災害から、各自の状況に応じた「自助」、「共助」の防災活動ができることをめざし、児童生徒の発達段階に応じて、災害に適切に対応する能力や、主体的に判断し行動する能力を高めるため、家庭や地域、大学等の関係機関と連携した防災教育を推進します。



### ○学校から地域へ広げる防災力の向上

中・高校生の防災士資格の取得を支援するとともに、これまで、活動の充実を図ってきた学校の「防災クラブ」を中心に、地域と連携した実践的な防災ボランティア活動に取り組むことで、将来の地域防災を担う人財の育成を強力に推進します。



中・高校生の防災研修会

防災士の資格を持つ教員を継続して養成し、教員の防災教育に関する指導力向上を図るとともに、避難所となる学校が適切に初動対応できるよう、学校防災体制の強化を図り、地域と協働した防災力の向上に取り組めます。



## ③すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実

### ○子どもと共に教職員が輝く、質の高い学びの実現

すべての教職員が主体的に学び、自己を高め、学校目標を達成できるよう、教員育成指標を踏まえたキャリアステージに応じた体系的な研修の実施や\*「メンター制」による若手教職員の育成など、学び続ける教職員を支援する環境を整備します。



テレビ会議システムを  
活用したサテライト研修

すべての教職員が、安心して教育活動に専念し、その能力を十分に発揮できる、「持続可能な学校づくり」を推進します。

県内小・中学校への「<sup>\*</sup>統合型校務支援システム」の導入による負担軽減など、学校における働き方改革を推進し、教職員の心身の健康保持・増進、ワーク・ライフ・バランスの浸透を図ります。



### ○学校・家庭・地域が一体で取り組む教育の推進

めざす学校像や子ども像等に関する、学校運営のビジョンを学校と家庭・地域が共有し、互いにパートナーとして、連携・協働のもとに教育活動を充実させていくことができる、「地域とともにある学校づくり」の実現のために、「学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)」の導入を推進します。

放課後等の多様な学びや体験活動など、地域人材の参画による学校教育活動支援や地域と学校が連携・協働した多様な取組により、地域総ぐるみの教育を実現し、地域の教育力向上や地域の活性化を図ります。



放課後子供教室での学び



### ○すべての子どもに均等な教育機会の提供

子どもへの教育機会の提供が、生まれ育った環境によって左右されることなく、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、学校教育費の負担を軽減し、次代を担うすべての子どもが、将来に夢と希望を持って成長していける社会の実現のため、「子どもの貧困対策」をより一層、推進します。



## 重点項目Ⅴ

### 世界へ飛躍！「徳島ならではの」の文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やその後を見据え、トップアスリートの輩出や、本県が誇る「あわ文化4大モチーフ」に新たな価値を創造するなど、スポーツや文化芸術分野において、優れた才能や個性を見だし、伸ばしていくための教育を推進し、「徳島ならではの」の文化・スポーツレガシーを創出します。

#### ①レガシーを創出「躍動スポーツとくしま」づくり

##### ○未来のトップアスリートの発掘、育成・強化

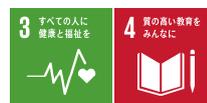
ジュニア期からの有力選手の発掘に努めるとともに、2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、県内トップスポーツ校への継続した強化やお家芸競技の創出に取り組み、国際大会や全国大会等で活躍する、「スポーツマンシップ」を兼ね備えた、真のトップアスリートの育成と強化を図ります。

スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校の「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、県外強豪校との対戦・交流はもとより、大学やトレーナー協会、栄養士協会等、関係団体との連携により本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。



鳴門渦潮高校の設備を活用した体力測定

「プレイヤーズファースト」で中長期的な選手育成の視点に立ち、適切な活動時間及び休養日の設定、スポーツ医科学に依拠したトレーニング、熱中症対策など、安全・安心なスポーツ環境の創出を図ります。



## ○生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくり

2019年から3年連続で、国際スポーツ大会（ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西）が開催されます。

スポーツ参画への機運の高まりを一過性のものとすることなく、障がい者スポーツも含め、県民誰もがスポーツに親しむことができる機会・環境の創出を図り、「生涯スポーツ」の一層の普及促進に取り組みます。



ドイツ女子ハンドボール  
プロチームとの交流



## ②世界に輝く「あわ文化」の創造

### ○4大モチーフに代表される「あわ文化」の創造・発信

「阿波藍」「阿波おどり」「阿波人形浄瑠璃」「ベートーヴェン第九」の4大モチーフに代表される「あわ文化」に関する教育を充実します。「あわ文化」を次世代に伝承し、ふるさと徳島の魅力を発信する「あわっ子文化大使」\*など、次代のあわ文化の担い手の育成を図ります。



藍染め体験



うだつの町並みでのガイド研修



大谷焼絵付体験

### ○優れた芸術・文化に触れる機会の創出

文化芸術の分野を牽引する「リーディングハイスクール」<sup>\*</sup>を拠点とした戦略的な学校づくりにより、一人ひとりの個性を重視し、可能性を最大限に伸長する教育を推進します。



名西高校定期演奏会



名西高校生による演奏指導



すだちくん森のシアター  
での能楽公演

文化の森総合公園を拠点とした魅力ある企画展やイベントの開催、普及事業や出前授業等の実施により、優れた芸術活動に触れ、文化・芸術の感動や体験する機会を創出し、徳島から世界に羽ばたく人財の育成を図ります。



## ③「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進

### ○未来へ発信！世界遺産登録への挑戦

自然の中に息づく「四国八十八箇所霊場と遍路道」、「鳴門の渦潮」の世界遺産登録を実現するため、「資産の保護措置」と「普遍的価値の証明」に向けた取組を推進します。徳島県を代表する文化遺産の魅力に愛着と誇りを持ち、後世への継承を図るとともに、広く世界に情報発信します。





京都文化博物館での  
板東俘虜収容所関係資料の展示

「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ  
「世界の記憶」登録実現に向け、気運醸成、  
国内外への魅力発信を推進します。



### ○郷土の自然と文化を愛し、「ふるさと徳島」への誇りを培う教育の推進

徳島の多様な自然と人々が育み培った「歴史的遺産」に誇りを持ち、「郷土を愛する心」を醸成するため、「文化財」の持つ魅力や価値を再発見するとともに、新たな「ふるさと徳島」の文化・芸術活動を創出します。

徳島の文化が持つ多彩な魅力を広く国内外に発信するため、伝統文化の継承者など、次世代に繋げる「文化の担い手」の育成を進めます。



「レキシルとくしま」での体験学習



阿波人形浄瑠璃傳承教室

### ○ふるさとの魅力実感！「とくしま回帰」の促進

「ふるさと徳島」の豊かな自然、固有の歴史や伝統、文化等の魅力について子どもの頃から学び、ふれあう取組を推進します。

勝浦町から発見された「国内最古級の恐竜化石」など、新たな魅力も踏まえ、徳島のよさや強み、課題を考える機会を拡充することで、地域社会に参画する意識を高め、貢献する意欲の醸成を図り、「ふるさとへの還流や定着」の促進につなげます。



## 6 参考資料

### 用語解説

#### 【1ページ】

#### 超スマート社会

必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かくに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会のこと。

#### Society5.0 (ソサエティ5.0)

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな経済社会のことで、サイバー空間とフィジカル空間（現実社会）が高度に融合した「超スマート社会」の実現により、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと。

#### SDGs (エスディーゼーズ)

Sustainable Development Goals の略。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際社会共通の目標。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

#### 【4ページ】

#### IoT (アイオーティー)

Internet of Things の略で、「モノのインターネット」と訳される。身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながることで、より豊かで便利な生活をもたらすことが期待されている。

#### ビッグデータ

ビッグデータは文字通り「大規模なデータ」のことで、一般的なデータ量をはるかに超える大規模なデータを収集・蓄積・処理し、新たな価値を見いだすことが期待できる。教育現場では、子どもの学力データや学習履歴データなどを蓄積して多面的な分析を行うことにより、個々人に最適な指導を見いだしたり、全体の学力向上へつなげたりすることができるかと期待されている。

#### AI (エーアイ)

Artificial Intelligenceの略で、人工知能を表す。人間が持っている認識や推論などの能力をコンピュータでも可能にするための技術のこと。

#### エシカル消費

人や社会・環境に配慮した製品や商品・サービスを選んで消費すること。

#### チェンスクール

地理的に分散した小中学校が人的・物的に連携する徳島発の小中一貫教育のこと。

#### パッケージスクール

同一地域の学校や保育所、社会教育施設などが地域一体で教育に取り組む徳島発の小中一貫教育のこと。

#### デュアルスクール

地方と都市の2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を展開する本県発の「新しい学校のかたち」のこと。地方と都市、双方の視点を持った人材の育成はもとより、本社とサテライトオフィスを結ぶ新しい働き方や、二地域居住といったライフスタイルの促進にもつながる。

## 【5ページ】

### **E d Tech (エドテック)**

Education Technology (教育・技術) の造語。教育の分野に先端技術を取入れて活用すること。

## 【6ページ】

### **STEAM教育 (スチーム教育)**

教科の枠を越えたさまざまな分野の知識を融合させ、課題を発見し、解決させることで新しい価値を創造する力をつけさせる教育のこと。

Science：科学、Technology：技術、Engineering：工学、Arts：芸術、Mathematics：数学

### **国際科学オリンピック**

高校生が科学(数学・化学・生物学・物理・情報・地理・地学の7分野)の難問に挑む国際的なコンテストのこと。

### **科学の甲子園**

高等学校等(中等教育学校後期課程、高等専門学校を含む)の生徒チームを対象として、理科・数学・情報における複数分野の競技を行う取組のこと。国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が、平成23年度に創設し、全国の科学好きな高校生が集い、競い合い、活躍できる場を構築するとともに、科学好きの裾野を広げ、トップ層を伸ばすことをめざしている。

### **スーパーサイエンスハイスクール**

将来の国際的な科学技術人材を育成することをめざし、理数系教育に重点を置いた研究開発を行う国の事業のこと。

## 【7ページ】

### **カリキュラム・マネジメント**

教科等の目標や内容を見渡し、特に学習の基盤となる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のために、学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ること。

### **アクティブ・ラーニング**

主体的・対話的で深い学び。「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視した授業の手法のこと。知識や理解の質が高まる効果がある。

## 【8ページ】

### **6次産業化教育**

6次産業化とは、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用して新たな価値を生み出すこと。6次産業化教育とは、本県の強みである農林水産物の付加価値をさらに高めるとともに、新たな「とくしまブランド」を生み出す発想と産業を開拓する創造的実行力を育成するための教育のこと。

### **キャリア教育**

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達(社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程)を促す教育のこと。

## **キャリア・パスポート**

児童生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。

※ポートフォリオ・・・ファイルや書類入れを意味する。学習の過程で創出されたものを記録してまとめたもの。

### **【9ページ】**

## **高校生サミット**

高校生が県や地域の課題解決を考える「高校生タスクフォース」や本県ゆかりの社会人とのセッションを行う、県教育委員会の取組のこと。

### **【12ページ】**

## **ダイバーシティ**

多様性を表す。性別、年齢、国籍等に関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会を指す概念のこと。

## **ポジティブな行動支援**

障がいの有無に関わらず、望ましい行動を効果的に教え、その行動ができた際に賞賛や承認をすることにより、すべての児童生徒が主体的に適切な行動を学ぶ教育方法のこと。

### **【15ページ】**

## **リカレント教育**

基礎教育を終えて社会人になったあと、改めて就労に生かすため、学び直し、また就労するというサイクルを繰り返すこと。生涯、社会で活躍し続けるため、よりよく働くために重要である。

### **【16ページ】**

## **メンター制**

一般に企業などで行われている手法で、「豊富な知識と職業経験を有した社内の先輩社員（メンター）が、後輩社員（メンティ）に対して行う個別支援活動のこと。

### **【17ページ】**

## **統合型校務支援システム**

教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）、保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系などの機能を統合したシステムのこと。校務における業務負担を軽減できることに加え、情報の一元管理及び共有ができる。

### **【19ページ】**

## **あわっ子文化大使**

郷土徳島の文化や文化財について学び、ふるさとを愛し、大人になってからも、徳島の文化について誇りを持って、県内外で発信できる中学生を知事が認定するもの。

### **【20ページ】**

## **リーディングハイスクール**

特色ある教育を実践するため、「学力」「スポーツ」「文化芸術」の各分野において本県教育を牽引することを目的に指定した学校のこと。指定を受けた学校では、教育環境と教育内容の充実を図ることにより、各分野を牽引する学校づくりを推進している。

# 「徳島教育大綱(今後4年間で取り組む重点施策)」とSDGsの対応関係

「徳島教育大綱」に掲げる重点施策の方向性			SDGsの17の目標																	
5つの重点項目	推進項目	施策の方向性	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
			貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長と雇用	イノベーション	不平等	都市	生産・消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段	
I 未知への挑戦！ 未来を創る教育の推進	① 持続可能な社会を具現化する「徳島ならではの」教育の推進 ② 「Society5.0」をリードする資質や能力の育成 ③ 世界に羽ばたく「グローバル人材」の育成	1 徳島発！新次元の消費者教育の推進	●			●									●	●			●	
		2 未来で輝く、魅力あふれる学校づくり				●										●				
		3 未来を拓く環境教育の充実				●	●	●							●	●	●			
II 夢と志を実現！ 確かな学びを育む教育の推進	① 真の知性を育む「深い学び」の実現 ② 将来を描き、可能性を最大化する教育の推進 ③ 成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成	1 確かな学力を育む、質の高い、深い学びの実現				●					●									
		2 地方創生に貢献する、多様な学びの実現				●				●										
		3 価値の創造を加速する、高等教育機関との連携強化				●					●									
III 一人ひとりが輝く！ 多様性を育む教育の推進	① 個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進 ② 互いに尊重し、支え合う教育の推進 ③ 共に生きる、「多様な力」を育む教育の推進	1 未来を切り拓く「キャリア教育」の推進				●				●										
		2 社会を「自分事」として捉える主権者教育の充実				●	●	●		●		●		●					●	
		3 豊かな育ちを支える、幼児教育の推進				●														
IV 誰もがいきいき！ 生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	① 生涯を通じた「豊かな学び」の創出 ② とくしまの未来を守る「防災教育」の推進 ③ すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実	1 かけがえのない「生命」を尊重し、感謝する心を育む教育の推進				●	●	●										●		
		2 夢を抱き、心豊かに生きる力を育む教育の推進				●						●								
		3 自ら学び、実践する健康教育の推進				●	●													
V 世界へ飛躍！ 「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進	① レガシーを創出「運動スポーツとくしま」づくり ② 世界に輝く「あわ文化」の創出 ③ 「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進	4 健全な心身を培う、魅力ある食育の推進		●		●								●						
		1 個々の特性に応じた切れ目ない支援体制の充実				●				●		●								
		2 みんなが主役！一人ひとりの才能や感性を生かす教育の推進				●				●		●								
IV 誰もがいきいき！ 生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進	① 生涯を通じた「豊かな学び」の創出 ② とくしまの未来を守る「防災教育」の推進 ③ すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実	3 共生社会の実現に向けた教員の専門性の強化				●					●									
		1 多様性を認め合い、つながりを実感する人権教育の推進・充実	●			●	●					●							●	
		2 子どもたちの未来を守る環境づくり	●			●														●
V 世界へ飛躍！ 「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進	① レガシーを創出「運動スポーツとくしま」づくり ② 世界に輝く「あわ文化」の創出 ③ 「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進	1 共生につなげる、帰国・外国人児童生徒に対する教育支援				●						●								
		2 世界とつながる教育の場の創造				●						●								
		1 つながる！支える！できる！家庭教育支援の充実				●														
V 世界へ飛躍！ 「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進	① レガシーを創出「運動スポーツとくしま」づくり ② 世界に輝く「あわ文化」の創出 ③ 「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進	2 生涯にわたって学び続ける環境づくり				●						●								
		1 「絆」を育む防災教育の推進				●								●						
		2 学校から地域へ広げる防災力の向上				●								●						
V 世界へ飛躍！ 「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進	① レガシーを創出「運動スポーツとくしま」づくり ② 世界に輝く「あわ文化」の創出 ③ 「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進	1 子どもと共に教職員が輝く、質の高い学びの実現				●														
		2 学校・家庭・地域が一体で取り組む教育の推進				●														●
		3 すべての子どもに均等な教育機会の提供	●			●							●							
V 世界へ飛躍！ 「徳島ならではの」文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進	① レガシーを創出「運動スポーツとくしま」づくり ② 世界に輝く「あわ文化」の創出 ③ 「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進	2 未来へ発信！世界遺産登録への挑戦				●									●					
		2 郷土の自然と文化を愛し、「ふるさと徳島」への誇りを培う教育の推進				●														
		3 ふるさとの魅力実感！「とくしま帰郷」の促進				●														

## 表紙の「すだちくん」について



平成25年に一般公募により、「とくしま教育の日」のシンボルマークとして生まれた「教育すだちくん」。

ロケットのように上昇する鉛筆は、教育の充実と発展、そして未来への希望を表し、背景の三色の交わり合った輪は「学校・家庭・地域が一体」となるさまを表現しています。